

2026年4月11日(土) — 6月14日(日)

アニマルズ
in
朝香宮邸



ANIMALS
in THE RESIDENCE of
PRINCE ASAKA

Saturday, April 11–Sunday, June 14, 2026



タキドール・ワグネル(デザイン) ロイヤル・コペンハーゲン(製造)
《ペンギン》1902年頃 東京都庭園美術館蔵／東京都庭園美術館
本館 大倉庫「フランツ・ボン・ボン(シロタキ)」1901–1904年 蔵
島立館 大倉庫蔵(シル・ラッパ 大倉(イノ)) 1919年 東京都
庭園美術館蔵／「ワグネル・ロタン(キリン)」1929年(1908年制作)
東京都庭園美術館蔵／東京都庭園美術館蔵 本館 ベランダ



開館時間 | 10:00–18:00 (入館は閉館の30分前まで)
休館日 | 毎週月曜日 *ただし、5月4日は開館、5月7日(木)は休館
Hours | 10AM–6PM Last admission at 5:30PM
Closed | Mondays (except May 4), May 7

主催 | 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
年間協賛 | 戸田建設株式会社、ブルームバーク
Bloomberg Van Cleef & Arpels

観覧料 | 一般: 1,000(800)円、大学生(専修・各種専門学校含む): 800(640)円、
高校生および65歳以上: 500(400)円

()内は20名以上の団体料金／中学生以下は無料(予約不要)／身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその介護者2名は無料(ミライロID含む)(予約不要)／教育活動として教師が引率する都内の小・中・高校生および教師は無料(事前申請が必要)／第3水曜日(シルバーデー)は65歳以上の方は無料(予約不要)
※本展は日時指定予約制です。ご来館前に当館ウェブサイトよりチケットをご購入ください。
※5月13日(水)・27日(水)はフラットデー開催日のため、通常よりも入場者数を制限いたします。あらかじめご了承ください。



〒108-0071 東京都港区白金台5-21-9
お問い合わせ | 050-5541-8600 (ハローダイヤル)
5-21-9, Shirokanedai, Minato-ku, Tokyo Tel +81(0)50 5541 8600
URL | www.teien-art-museum.ne.jp SNS | @teienartmuseum
アクセス | [目黒駅] JR山手線 東口／東急目黒線 正面口より徒歩7分
[白金台駅] 都営三田線／東京メトロ南北線 1番出口より徒歩6分



東京都庭園美術館
TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM

各位

日頃より東京都庭園美術館をお引き立ていただき誠にありがとうございます。

当館では、2026年4月11日（土）－ 6月14日（日）の会期で「建物公開2026 アニマルズ in 朝香宮邸」展を開催いたします。旧朝香宮邸である東京都庭園美術館本館の魅力をご紹介します、年に一度の建物公開展。今年は、「アニマルズ」をテーマに掲げ、朝香宮邸にゆかりのある動物たちに注目します。

ぜひ貴媒体にて本展をご紹介しますよう、お願い申し上げます。

展覧会概要

1920年代半ば以降、フランス・パリで全盛期を迎えたアール・デコに触れた朝香宮鳩彦王・允子妃は、帰国後にアール・デコを取り入れた邸宅を建てました。主要な部屋の内装は、アンリ・ラパンやルネ・ラリックなどの芸術家たちが手がけ、また、全体の設計は宮内省内匠寮の技師が担い、1933年に竣工しました。

旧朝香宮邸の室内装飾を観察すると、たびたび動物たちが登場することに気が付きます。また、宮邸時代には、白孔雀や鶴、犬、鶏、ウサギなども実際に生活していました。本展では、様々な作品や資料を通して、こうした朝香宮邸の中にいる／いた動物たちをご紹介します。

本展では、このほかに、宮邸時代の家具や調度品を展示することで、往時の雰囲気を楽しみながら建物自体の魅力に触れていただきます。また、3階のウインターガーデンの特別公開や、新緑の美しい庭園を臨めるしつらえによりお客様をお迎えします。唯一無二の建築空間や室内装飾とともに、朝香宮邸とゆかりのある動物たちの愛らしい姿をお楽しみください。

みどころ

アニマルズ、大集合！

朝香宮邸に暮らしていたのは、朝香宮家だけではなく。白孔雀や鶴、犬、鶏、ウサギ・・・様々な動物たちが飼育されていました。当時の様子を記録した貴重な資料には、庭園を闊歩する白孔雀の姿も収められています。

また、建物の室内装飾にも、鹿や魚など動物たちがモチーフとして用いられています。本展ではこうした動物の館^{やかた}としての朝香宮邸にも注目します。

さらに、新館では20世紀の西洋美術における多様な動物モチーフの作品をご紹介します。可愛い、勇ましい、大きい、小さい・・・様々な動物たちが集合します。

ウインターガーデンの特別公開

旧朝香宮邸の最上階である3階に位置するウインターガーデン。白と黒の市松模様の床が印象的な本部屋は、2003（平成15）年の修復後に一般初公開されて以降、展覧会によって限定公開される特別な空間です。本展でもこのウインターガーデンを公開。実際にお入りいただき、細部をご覧ください。

新緑の庭園と旧朝香宮邸

本展は庭園の新緑が美しい時期に開催。普段は作品保護のために閉められていることの多いカーテンを、可能な限り開け放つことで、旧朝香宮邸からも庭園の美しい緑を堪能していただけます。フランスのアール・デコのデザインと日本の意匠が融合した、唯一無二の建築空間と、都会にある豊かな自然という、当館ならではの特徴を存分に堪能できる、またとない機会となります。

早期来館特典

展覧会期間の平日にご来館の方に、本展オリジナルステッカーをプレゼントします。ステッカーは数に限りがあり、先着順となりますので、お早めにお越しください。

※本館受付でお渡しします。

※プレゼントは当日有効の展覧会チケットをお持ちのお客様に限ります。

※1名様につき、1枚のみとなります。

※ステッカーがなくなり次第、終了します。予めご了承ください。

会期中の
プログラム

◎講演会

「私たちは動物をどう捉えてきたか～旧朝香宮邸の動物を踏まえて」

講師 | 成島悦雄（日本動物園水族館協会顧問、元井の頭自然文化園園長）

日時 | 2026年4月18日（土）14時30分～16時

場所 | 東京都庭園美術館 新館ギャラリー2

参加費 | 無料（当日有効の展覧会チケットが必要）

定員 | 80名（事前申込制・応募者多数の場合抽選）

サポート | 手話通訳・文字表示支援あり

※2026年3月16日（月）より、当館ウェブサイトからお申込み可能

◎ワークショップ

「自分で作った色紙でカラフル動物切り絵」

絵の具を使ってオリジナルの色紙を作って、切り絵で生き物を作りましょう！

講師 | 佐々木愛（美術作家）

日時 | 2026年5月16日（土）14時30分～16時30分

場所 | 東京都庭園美術館 新館ギャラリー2

参加費 | 無料（当日有効の展覧会チケットが必要）

対象 | 3歳～小学6年生 ※小学3年生までの参加者は保護者の参加が必須です

定員 | 20名（事前申込制・応募者多数の場合抽選）

※2026年4月13日（月）より、当館ウェブサイトからお申込み可能

◎庭園ツアー

当館学芸員とともに庭園を巡り、旧朝香宮邸に暮らした動物たちの痕跡を辿ります。

日時 | 2026年5月23日（土）、5月24日（日）各日14時30分～15時

参加費 | 無料（当日有効の展覧会チケットが必要）

定員 | 各日20名程度（事前申込制・応募者多数の場合抽選）

サポート | 5月24日（日）のみ手話通訳あり

※2026年4月20日（月）より、当館ウェブサイトからお申込み可能

※天候により中止となる場合があります

会期中の プログラム

●フラットデー

東京都庭園美術館は、あらゆる人がフラットに安心して楽しめる環境づくりに取り組んでいます。フラットデーは入場制限を行うため、ゆとりある環境で展覧会をお楽しみいただけます。また、会話を伴うツアーがあるなど、通常と違う点がございます。予めご了承ください。

① ゆったり鑑賞日

障害がある方も、ない方も、美術館をゆっくり楽しみませんか？

多くの人で賑わう美術館に不安がある方も、普段よりもゆとりのある環境で鑑賞できる一日です。車椅子の方や介助等が必要な方も、安心してお過ごしいただけます。※本館内でベビーカーは利用できません。

日時 2026年5月13日（水）10時～18時（最終入場17時30分）

② ベビーアワー

赤ちゃんも一緒に美術館へ！

赤ちゃんと暮らすご家族のみなさんに気兼ねなく展覧会をご覧いただける時間です。普段はベビーカーを使うことができない本館もベビーカーのままご入館いただけます。

日時 2026年5月27日（水）10時～15時（本館内でベビーカーを利用できる時間）

鑑賞ツアーを同時開催

フラットデー当日はアート・コミュニケーターによる鑑賞ツアーも行います。

●孔雀の舞

フラットデーの詳細は
こちら



久伊豆神社（埼玉県さいたま市岩槻区）の春季例大祭において毎年奉納される「孔雀の舞」。同神社には、1938年に朝香宮鳩彦王から3羽の孔雀が奉納されました。孔雀奉納80年祭が行われた2018年に創作された舞を、当館で特別に披露します。

出演者 | 開智中学・高等学校（岩槻IB探究部）

日時 | 2026年4月26日（日）①11時～ ②14時～ （各回10分程度）

場所 | 東京都庭園美術館 芝庭 ※雨天中止

参加費 | 無料（当日有効の展覧会チケットまたは庭園チケットが必要）

※東京都庭園美術館の魅力を発信していくための発信力強化事業として実施します。

展覧会情報

展覧会名	建物公開2026 アニマルズ in 朝香宮邸
英文タイトル	Looking at Architecture 2026: Animals in the Residence of Prince Asaka
会期	2026年4月11日(土) - 6月14日(日)
開館時間	10:00~18:00 (入館は閉館の30分前まで)
休館日	毎週月曜日 ※ただし5月4日は開館、5月7日(木)は休館
会場	東京都庭園美術館(本館+新館)
観覧料	一般=1,000(800)円/大学生(専修・各種専門学校含む)=800(640)円 高校生および65歳以上=500(400)円 ※()内は団体料金。団体は20名以上(事前申請が必要) ※中学生以下は無料(予約不要) ※身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方とその介護者2名は無料(ミライID含む)(予約不要) ※教育活動として教師が引率する都内の小・中・高校生および教師は無料(事前申請が必要) ※第3水曜日(シルバーデー)は65歳以上の方は無料(予約不要) ◎本展は <u>日時指定予約制</u> です。ご来館前に当館ウェブサイトよりチケットをご購入ください。 ◎5月13日(水)・27日(水)はフラットデー開催日のため、通常よりも入場者数を制限しています。あらかじめご了承ください。
主催	東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館
年間協賛	戸田建設株式会社、ブルームバーグ Bloomberg Van Cleef & Arpels

会場情報

東京都庭園美術館 | 東京都港区白金台5-21-9
[目黒駅] JR 山手線東口/東急目黒線正面口より徒歩7分
[白金台駅] 都営三田線/東京メトロ南北線1番出口より徒歩6分
TEL. 050-5541-8600 (ハローダイヤル)
Website www.teien-art-museum.ne.jp
Follow us on Facebook, X, Instagram @teienartmuseum

写真撮影について

会期中、会場内の写真撮影が可能です。ただし、一部制限する場合があります。当館ウェブサイト等で諸注意をご確認いただき、撮影をお楽しみください。

広報用画像



- ①テオドール・マドセン（デザイン） ロイヤル・コペンハーゲン（製造）《ペンギン》
1902年頃 東京都庭園美術館蔵
- ②フランソワ・ボンボン《シロクマ》1921-1924年 群馬県立館林美術館蔵
- ③ルネ・ラリック 花瓶《インコ》1919年 東京都庭園美術館蔵
- ④エドゥアール・ベネディクトゥス『ルレ 15枚の図版による42の装飾モチーフ』
1930年 東京都庭園美術館蔵
- ⑤東京都庭園美術館 若宮居間 ストーブ・レジスター（部分）
- ⑥東京都庭園美術館 本館 正面外観
- ⑦東京都庭園美術館 本館 大食堂
- ⑧東京都庭園美術館 本館 大客室
- ⑨東京都庭園美術館 本館 ウィンターガーデン
- ⑩レイモン・シャルメゾン《アーケード》『美しい庭園』1919年
東京都庭園美術館蔵

1	2	3
4	5	6
7	8	9
		10

